

「朝の居場所づくり」の取組状況について

<報告内容>

- 1 これまでの取組状況
- 2 本市における「朝の居場所」の考え方
- 3 先行モデル実施について



「朝の居場所づくり」の取組状況について

1 これまでの取組状況

(1) 令和8年3月「第3次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン第1期実施計画」策定

保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所」づくりを進めることを位置付け、朝の居場所開設校を令和8年度から全校設置に向け順次拡大することとした。

(2) 令和8年3月「令和8年度川崎市予算について」

朝の居場所づくり事業について、令和8年度は、各区1校での実施を予定し、「学校の朝の居場所づくりの推進」の予算として22,264千円を計上した。

(3) 令和8年4月～「小学校の朝の状況の現地調査」

朝の居場所づくり事業のモデル実施等を見据え、令和8年4月以降、これまでに、概ね全115校の朝の状況を現地調査し、校門前や昇降口前で待機する児童数等を確認した。

校門開錠時間が7時45分以前の学校 <70校>

- ・「校門前で待つ児童」は、ほとんどいない
- ・早く来る児童は「昇降口前」で待機

校門開錠時間が7時45分より後の学校 <45校>

- ・「校門前で待つ児童」(開錠10分前) = 平均 5.9人
- ・「校門前で待つ児童」(開錠5分前) = 平均 16.8人
- ・「校門前で待つ児童」(開錠直前) = 平均 37.8人

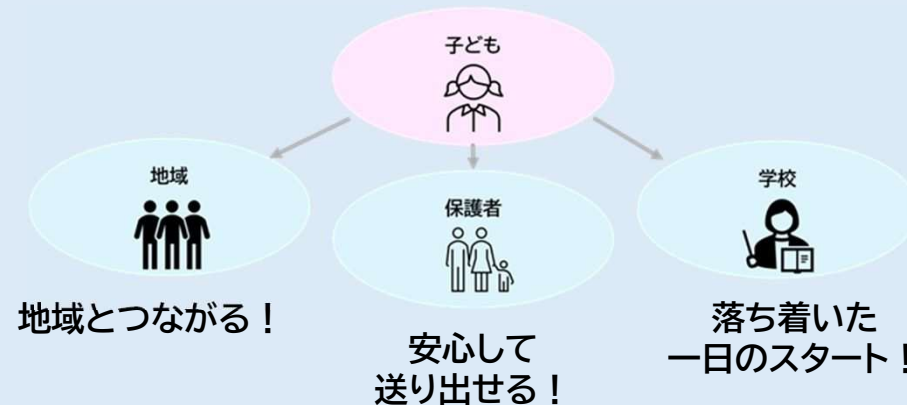
「朝の居場所づくり」の取組状況について

2 本市における「朝の居場所」の考え方

(1) コンセプト

“ 子どもたちが落ち着いて一日のスタートを切ることができる安心の居場所 ”

子どものための事業と捉えた事業設計を進め子ども・保護者・地域・学校それぞれに資する取組としていく



(2) 4つのポイント

学校管理下外の
事業として実施

地域人材中心の運営

教育的付加価値の創出

学校開校日は
毎朝屋内で運営

(3) 「モデル事業」を市内3校で先行開始

上記のコンセプトやポイントを踏まえ、地域の協力を得ながら見守り体制を構築することを前提に、児童の待機状況、学校敷地内の動線確認や諸室の配置等を総合的に考慮するとともに、本格実施に向けた検証期間を確保するため、できるだけ早期のモデル事業実施着手を目指して、学校や地域と意見交換しながらモデル実施校の選定調整を進め、体制が整った新小倉小学校(幸区)、久本小学校(高津区)、犬蔵小学校(宮前区)で、令和8年7月6日にモデル事業を先行開始した。

「朝の居場所づくり」の取組状況について

3 先行モデル実施について

(1) 先行モデル実施目的と今後の展開イメージ

115校それぞれ、施設条件、朝の状況、地域人材の状況等が異なる中、「朝の居場所づくり」事業を効果的に実施していくために、基本的なコンセプトやポイント等を設定しながら、体制が整った3校においてモデル実施を開始し、実施を通じて「効果」と「課題」を検証しながら、柔軟に次の実施に反映させていく。

	新小倉小(幸区)	久本小(高津区)	犬蔵小(宮前区)
運営主体	NPO法人はたらくらす (地域に根差す団体による運営モデル)	NPO法人 高津総合型スポーツクラブSELF (地域管理校等による運営モデル)	読み聞かせをしている地域人材 (地縁人材中心に実行委員会化を 目指し運営するモデル)

☞ モデル実施を通じて、アンケート調査等を実施しながら、事業内容や運営マニュアルを適時、細やかにブラッシュアップしていく



「朝の居場所づくり」の取組状況について

(2) 先行モデル実施における運営内容

☞ 朝の居場所運営の基本的パターン

7:20 (運営準備)	7:30～ (居場所運営)	8:00頃	～8:30
- 警備解除 - 校門開錠 - 児童受入準備	- 校門等で児童を受入れ・誘導 - 図書室等で居場所運営、児童は読書・勉強等をして過ごす	登校開始時間等に合わせて児童を教室に誘導	- 日報作成 - 特記事項等の学校への引継ぎ - 片付け

☞ 朝の居場所運営の具体的事項

利用対象	利用登録・利用時申込	活動内容	利用者・運営者の保険
実施校に通う全児童が対象	利用登録等不要	朝読、宿題、見守りスタッフとの会話などの静的活動	市が一括して加入

(3) 先行モデル実施における利用状況等 ※7月6日(月)～10日(金)の5日間の平均値

新小倉小学校	久本小学校	犬蔵小学校
平均利用人数＝48.8人 (内訳) 1年生＝15.6人 2年生＝12.6人 3年生＝14.2人 4年生＝ 3.4人 5年生＝ 2.8人 6年生＝ 0.2人	平均利用人数＝32.2人 (内訳) 1年生＝ 1.4人 2年生＝ 6.8人 3年生＝ 3.0人 4年生＝ 9.2人 5年生＝ 5.4人 6年生＝ 6.4人	平均利用人数＝27.2人 (内訳) 1年生＝ 2.6人 2年生＝ 2.8人 3年生＝ 1.4人 4年生＝13.4人 5年生＝ 2.8人 6年生＝ 4.2人



児童の声

・登校中に友達と待ち合わせして、昇降口が開くまでおしゃべりをしたり、本を読んだりして過ごしました。
・漢字の宿題を忘れてしまいましたが、朝のうちにできてよかったです。

仕事の時間に合わせて家を早く出ているので「朝の居場所」はよいと思います。このあと、下の子を保育園に連れていきます。

保護者の声



小学生の「朝の居場所づくり」モデル事業を市内の3校で開始しました ～子どもたちが気持ちよく1日のスタートを切ることができる安心の居場所を創出～

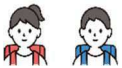
川崎市では、朝の時間に子どもだけで過ごすことに不安を感じている家庭のニーズ等に対応し、保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所づくり」を進めています。

令和8年度は、各区1校でモデル事業を実施することを予定しており、**7月6日(月)に先行3区(幸区：新小倉小学校、高津区：久本小学校、宮前区：犬蔵小学校)でモデル事業を開始**しました。

朝の居場所を利用した児童は、小学校ごとに設定された図書室などの居場所で読書、勉強などをして過ごしました。

今後、先行モデル事業を実施する3校における取組状況を検証しながら、秋頃を目途に残り4区でのモデル事業を開始するとともに、市内全115小学校での設置に向けて、順次、設置校を拡大していくことを予定しています。

児童の声



・登校中に友達と待ち合わせして、昇降口が開くまでおしゃべりをしたり、本を読んだりして過ごしました。
・漢字の宿題を忘れてしまいましたが、朝のうちにできてよかったです。

仕事の時間に合わせて家を早く出ているので「朝の居場所」はよいと思います。このあと、下の子を保育園に連れていきます。

保護者の声



1 「朝の居場所づくり」モデル事業の概要

(1) 開始時期・開設日時

令和8年7月6日(月)に開設

開設日時は、学校課業日(平日)の午前7時30分頃から8時10分頃まで

(土曜・日曜・祝日・夏季休業などの長期休業期間等は開設しません)

(2) モデル事業実施校

幸区のモデル校 市立新小倉小学校(幸区新小倉2-15) 2階メディアセンター

運営：NPO法人はたらくらす (幸区) 代表理事 いしわた ひろみ 石渡 裕美

法人名の由来は「働きかける」「働く」「暮らす」「クラス(集う・学ぶ)」がある街をイメージして、「はたらく」と「くらす」を掛け合わせたもの。「人が輝き、場が生まれ、街が育つ」をミッションに、年間100本以上のイベント、子育てサポート、地域での学びなど多彩な事業を展開しています。

高津区のモデル校 市立久本小学校(高津区久本3-11-3) 1階図書室

運営：NPO法人高津区総合型スポーツクラブSELF (高津区) 理事長 きくち ただし 菊地 正

「スポーツが育む・まち・みらい」という活動方針をテーマに掲げ、スポーツを通じた地域の活性化を目指しています。学校施設を核として多くの講座を実施するとともに、学校施設の管理、寺子屋事業の実施、居場所づくりなど、地域・行政・学校等との連携した事業を精力的に展開しています。

宮前区のモデル校 市立犬蔵小学校(宮前区犬蔵1-3-1) 1階図書室

※7月14日～10月末までは校舎の工事に伴い「特別活動室」にて朝の居場所を開設

運営：いぬくら子ども文庫 (宮前区) 主宰 わたなべ やすお 渡部 康夫

市内小学校の元司書教諭であった代表者の渡部康夫氏が、定年退職後、自宅を開放して、地域の子どもたちに本の紹介や貸し出し、読み聞かせをするなどの活動を行っています。朝の居場所事業に先立ち、令和7年度から犬蔵小学校で「朝の図書室開放」に仲間のボランティアと取り組んでいます。

(3) 利用対象

実施校に在籍する全児童

(4) 利用方法等

利用を希望する児童は、「利用カード」を持参して、小学校ごとに設定された図書室などの居場所で読書、勉強、朝の居場所スタッフとの会話などをして過ごします（登録不要・利用無料）。

2 開設初日の利用児童数

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
新小倉小学校	14人	8人	14人	3人	3人	1人	43人
久本小学校	0人	9人	5人	11人	7人	9人	41人
犬蔵小学校	4人	4人	0人	16人	0人	5人	29人
合計	18人	21人	19人	30人	10人	15人	113人



新小倉小学校の様子



久本小学校の様子



犬蔵小学校の様子

問合せ先

川崎市教育委員会事務局地域教育推進室 金井

電話 044-200-0444（内線 51803）